



# たんぽぽ通信



2023年 臨時版 冬号

寒い日が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？  
当院の座談会「たんぽぽ」、新リニューアルに向けての準備のため、現在休会しています。  
そこで過去の相談内容等、ご紹介します。参考にしてみてください。

## ★栄養相談★



Q. 離乳食をなかなか食べてくれません。

A. だんだん食べられるようになってきます。時間で切り上げていくことも必要です。

動きが変わると食べ方が変わってくるお子さんもいます。ずっとミルクやおっぱいで、そのときに食べたり食べなかったり、その子によって違います。体重増加が順調であれば良いです。

Q. 赤ちゃんのアレルギーとお母さんのアレルギーは関係ありますか

A. 妊娠後期に食べないほうが良いと言われたものがなければ関係ありません。ミルクや卵アレルギーは、おかあさんが食べて、母乳を飲んでから症状がでたら、お母さんに食べるのを控えてもらうこともあります。発疹や下痢の時は小児科に相談して下さい。アレルギーが出て、食べられるようになることもあります。5歳過ぎて、アレルギーがあっても少しずつ食べる量をふやしていくこともあります。

## ★育児相談★

Q. 子どもが寝返りを2・3回うって以降、寝返りをせずに過ごしています。寝返りさせようとしても両腕、両足を突っ張って寝返りしようとしなかったり、そのまま座ってしまいます。ハイハイで移動したりはしています。寝返りをうてないまま成長しても大丈夫なのでしょうか？

A. 寝返りをうたずに成長していくお子さんもいます。寝返りをうてなくても、その他は発達に影響していないようなので、大丈夫です。

Q. おっぱいでもなく、おむつでもなく、抱っこしても泣く場合ですが、そのような時はどうしたら良いのでしょうか。パパの質問。

A. 顔を真っ赤にして泣いて、膝を曲げて泣いているときはコリックの痙攣で泣き叫んで、おならがでたらスッキリすると言ったものがあります。その時はどうしようもありません。おろおろするしかありません。子育ては育児書通りにいきません。たいてい、おろおろしている内に大丈夫になっていきます。時には本当の病気の時もあります。しばらくしても良くならない、おっぱいを飲まない場合は受診したほうが良いでしょう。いつも抱っこしていると、皮膚感覚でわかる。時々しか抱っこしていないパパの場合はわからなくて、ちょっとしたことで、どうしたんだと言う人もいます。

